

学園だより

高志台

Vol.194

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY, NAGAOKA COLLEGE
KOSHI-DAI GAKUEN DAYORI

高志台 (こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、「こしのくに」(越の国・古志の国・高志の国)と呼ばれていました。学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台 (こうしだい)」と命名しました。

CONTENTS

入学おめでとう	02
新入生を迎えて	03-04
新入生学級担任からのメッセージ	05-06
新入生のための施設紹介	07
2019行事予定	08-09
学生会長・寮長から新入生へのメッセージ	10
学生会役員紹介、学生会役員からのメッセージ	11
各クラブから一言メッセージ	12-13
特集 新教育・研究プログラムの紹介	14-15
TOPICS	16
平成31年度第1学年入学者選抜実施報告	16

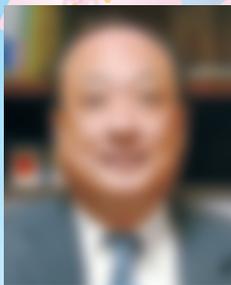


独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校
National Institute of Technology, Nagaoka College

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

入学おめでとう



校長 竹茂 求

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。長岡工業高等専門学校教職員ならびに在校生を代表して心よりお祝いを申し上げます。

今年度、準学士課程に209名の入学生を迎え、専攻科に進学した49名を加えて、総勢258名が新たに本校の一員として学ぶことになりました。準学士課程

の入学者には、従来からの編入制度による四年への編入生が1名、三年への編入生が3名います。三年への編入はタイ国とマレーシアそして中国からの留学生です。また、タイ国と結ばれた新しい制度で、今年度はチュラポーン王女サイエンスハイスクールから一年生と二年生にそれぞれ2名が入学しました。

皆さんが人生の早い段階で自分の将来を考え、技術者になると決心されたことに敬意を表します。皆さんの高専生活が実りあることを願い、これから高専で学ぶことの意義と、皆さんに心がけて頂きたいことをお話したいと思います。

高専は、入学する年齢は高校一年生と同じですが、大学と同じ高等教育機関です。皆さんを生徒ではなく学生と呼ぶのはそのためです。高等教育機関として中学を卒業した段階から技術者を育成する高専は日本独自の制度です。歴史的には、産業界からの強い要望で57年前に発足し、長岡高専はその一期校として設置されました。高専に期待されたことは、大学のようなアカデミズムの追求ではなく、実践的な技術者の育成です。高専はこれまでその使命を十分に果たしてきました。高専の卒業生が、世界の奇跡と言われる戦後の日本の高度経済成長に大きく貢献したことは良く知られています。それでは、今の高専はどうでしょうか。

高専が設置されて半世紀以上たった今日、人工知能やモノのインターネットと呼ばれるIoTなどの台頭により、人間社会は、人類がこれまで経験したことがないスピードで変化しています。この歴史的大変革を迎えている今、高専の実践的な技術者教育が改めて国内外で大きく注目され、期待されています。例えば、人工知能の研究者である東京大学の松尾豊先生は、今日のイノベーションに求められる素養と高専が育成する資質が一致していることを述べ、この日のために高専があるとんでもいい、高専生は日本の宝だ、と高専生の実践的能力を絶賛しています。皆さんは卒業して社会に出ると、同年代の技術者と比べて圧倒的な専門知識や技術が身に付いていることを実感し、松尾先生の言葉に納得するはずですよ。

それでは、実りある高専生活を送るために大切なことは何でしょうか。まず、文部科学省の事業で調査された最新

の統計データを紹介します。そこでは高専卒業生の高い社会的評価について、高専在学時の何が重要であったかを調査しています。ここで社会的評価は、卒業後の所得、職場での地位、そして仕事の満足度とし、高専生活では、学業成績、友人満足度、そして汎用能力に着目しています。最後の汎用能力は、実験や実習を含め、頭と手を使って試行錯誤でものづくりするエンジニアの基礎能力で、ここではものづくり能力と呼びましょう。

さて、学力は技術者にとって当然重要です。また進学を含めた進路選択にも関係しますので成績は気になることでしょう。一生懸命勉学に励んでください。そのことを前提にして調査結果を見ると、興味深いことは、在学時代の友人満足度とものづくり能力が学業成績と同じ程度に、卒業後の社会的評価と相関があったことです。その理由を、技術者に求められる能力を例に考えてみましょう。近年は、産業界の技術開発では専門分野の壁が無くなりつつあります。今日の技術開発の特徴は、例えばiPadやiPhoneの開発のように、既存の様々な技術を組み合わせる新しい価値を創造する方向に移行しています。これを異分野融合型の技術開発と呼び、複合融合型社会の到来とも言われています。つまり、技術者には他の専門分野の技術者と協力してものづくりする能力が求められるのです。

だから皆さんは、長岡高専で友達を沢山作って、色々なことに挑戦してください。部活動も良いでしょう。また長岡高専は全国の高専に先駆けて、学科や学年の壁を取り払った様々な制度を授業や課外活動に導入しています。例えば、意欲ある人は一年生でも研究に参加できますし、学生が地域の企業の課題に挑戦する取り組みもあります。皆さんが色々なことに思い切り取り組んで、個性に応じて成長されることを期待します。

最後に、もう一つ大切なことをお話します。皆さんは、授業が中学校に比べて速く進むことに少し驚き、躓くこともあるでしょう。その時、自分に能力が無いと思わないで下さい。理解の仕方や理解の速さは人それぞれ異なります。わからないときはどんどん先生に質問してください。友達同士で教え合うことや先輩に聞くのも効果的です。勉強の仕方のコツを掴んで努力することが重要です。また、高専生活では悩むことも度々あるでしょう。しかし、挫折や失敗を経験して克服することが皆さんの大きな自信となります。困ったときは遠慮しないで教員や職員に相談してください。

皆さんの先輩は、本校のこの地を「高い志を育む丘」の意味を込めて「高志台（こうしだい）」と名付け、研鑽に励んできました。先輩の想いを受継ぎ、高志台で充実した日々を過ぎて下さい。皆さんの高専生活が充実したものとになりますよう心から願っています。

新入生を迎えて



時間をかけてもOK! 夢を叶えましょう!!

副校長（総務主事） 鈴木 秋弘

入学おめでとうございます。皆さんそれぞれが、夢・目標をもってこの高志台に来てくれたと信じています。イチローは、「夢をつかむというのは一気にはできません。ちいさなことを積み重ねることで、いつの日か、信じられないような力を出せるようになっていきます」と言っています。たいてい、目標には期限がありますが、夢に期限はありません。すぐには叶わないような大きな夢を持ち、期限をつけた目標を一つずつ達成しながら積み重ねてみてください。5年後、7年後には想像もつかないくらいの高さ、膨らみに成長していることでしょう！それが「その人の強み＝魅力」となります。

入学して数年経ち、専門の勉強が増える頃、爆発的な成長曲線を描く過程となります。その時、勉強・実験を「おもしろい」と感じるかどうか？おもしろさが感じられない人は、もっと時間をかけて勉強・実験に取り組んでみてください。教員は、「勉強・実験はおもしろい」、「研究は楽しい」とアピールするものの、「楽しさ1%、残りの99%はつらい」というのが現実かもしれません。しかし、その1%の果実の魅力を知るかどうかは、その後の「人生の豊かさ」に大きく影響します。パスツールの「偶然には準備のできていない人を助けない」というように…。夢に期限はありません、時間をかけてもOKです。



学びと変化

副校長（教務主事） 青柳 成俊

ご入学おめでとうございます。早期に目標と志を持って入学を決意された皆様に祝意と敬意を表します。高専は、工学教育に関わる早期就学により才能を開花させ「個人のスキル能力と人間力に基づく知的生産活動により、社会に貢献できる人材」を育成しています。強い好奇心をもって「発想する力」をこの高専で鍛えてほしいと思います。その発想力は、これからの在籍期間での学びと経験、人的交流で養えます。ひとつの「学びと体験」が点であれば、つなげて線となり、重ねて面となり、最後には立体的で自由な発想を形成し、操ることができるでしょう。この展開は在学中に培う個人のキャリア形成のプロセスでもあります。工学分野に限らない世界中の抽象的な課題を、個々の発想力とチームワークで解決できる人物がますます必要になります。皆さんは自分の可能性を自ら制限することなく、自由に学び、自らも変化して将来の目標を達成してください。個人のスキルや能力が個別に社会で評価される時代でもあります。将来の夢を実現するための学びを楽しんでください。



時々の初心忘るべからず

校長補佐（学生主事） 田中 聡

入学おめでとうございます。これから始まる高専生活が、みなさんにとって最高の時間となるよう、精一杯お手伝いをさせていただきたいと思います。

さて、みなさんは高専合格という志を立て、努力をし、今その果実を手に入れました。周囲からも称賛され、達成感や高揚感の中で今日の日を迎えていることと思います。しかし、ここに落とし穴が潜んでいることを忘れてはなりません。言うまでもありませんが、高専に入ることも、高専に入ってからのほうがはるかに重要です。決して慢心してはいけません。今大切なことは、再度自分の未熟さを自覚し、先生や先輩の指導を受けながら、さらに自分を磨き上げようとすることです。改めて志を立てる時だと言ってもいいかもしれません。合格・入学は一時の花です。人生の節目節目で自らの未熟さを自覚し、それを乗り越えようとする。これを繰り返すことによるのみ、本当の花は咲くのです。

人生の時々において自分の未熟さに気づくことの大切さを、世阿弥は、「時々の初心忘るべからず」と表現しました。ざっと600年前のこの名言をみなさんとともにかみしめたいと思います。



「子供ではない」という 自覚が、人を大人にする。

校長補佐（寮務主事） 猪平 直人

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新入寮生の皆さん、入寮を心より歓迎いたします。

唐突ですが『獣の奏者』という小説には「王獣」という架空の獣が描かれます。王獣は人工的な飼育環境では繁殖しません。後に、同じ群れに親がいる間は、繁殖行動をしないと判明します。成熟するには、親から離れて生きる必要があるのです。では人間はどうでしょうか？

寮や一人暮らしの意義の一つは、家族や周囲への無意識な依存を断ち「自分はもう子供ではない」と自覚することにあります。そこでは「自分のことは自分です」が基本的な生活態度となり、困った時には自分から他者に「助けてほしい」と伝えなければならない。「何も言わなくても、誰か察して助けてほしい」という期待は、時に甘えに通じ、過度になれば人としての成熟を妨げます。

寮や学校の新しい文化に溶け込むには、少し時間がかかるでしょう。困った時ほど「学校や寮にいる人たち」に気持ちを伝える情報発信を心掛けてください。その努力は、自分の成長につながる貴重な一歩になるはずです。

新入生を迎えて

新たに4学期制が始まります！

校長補佐（専攻科長） 荒木 秀明

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。特に専攻科生は、本科と同じ校舎ですが、気持ち新たに専攻科ライフをスタートさせましょう。専攻科では、この春から4学期制が始まります。この4学期制では、1年生の3学期に必修科目を入れないように工夫をしています。これにより夏休みの8月お盆明けから3学期末の11月末までの3ヶ月以上にわたって、海外への留学、インターンシップ、ボランティアなど、数ヶ月間の長期にわたって取り組むことが困難であった活動に参加しやすくなります。もちろん専攻科へ進学するにあたっては、本科での卒業研究で、研究が面白くなり、そのテーマをもっと深掘りしたいと希望してきている人も多いと思いますので、トコトン研究に打ち込む期間として使うことも良いでしょう。学会や国際会議もたくさん開催される時期ですので、複数の学会をハシグするなんてことも可能です！ぜひ専攻科でしかできない体験や経験を積んで、みなさん自身の将来の夢を実現するための力を身につける機会として欲しいと思います。

海外での国際交流と国内での国際交流

校長補佐（国際交流担当） 中村 奨

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。長岡高専では産業界のニーズに応える語学力や異文化理解力、リーダーシップ力を備えグローバルに活躍できる技術者の育成に取り組んでいます。このためにモンゴル、タイ、マレーシア、シンガポール、ロシア、フィンランド、そしてメキシコに毎年学生を派遣しています。また派遣のみではなく、先に示した国からの学生も短期間受入れています。また高専3年次に編入学する留学生も毎年、複数名受入れていますし、特に今年からは、1年次からの留学生の受入れも行っています。長岡高専の学生になることにより、海外での国際交流と国内での国際交流の両方に関わることができます。これらの国際交流を通して、すぐれたコミュニケーション能力と国際的視野をもち、多様な価値観を理解できる技術者になってください。

AIR Techで次世代へ！

校長補佐（次世代教育推進担当） 外山 茂浩

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。長岡高専では、この4月からAIR Tech教育を専門に依らず低学年から全学的に導入します。AIR Techとは、AI、IoT、

Robot Technologyを意味しており、本校が考案した造語です。次世代産業にとって必須のAIR Techを、様々な活動を通じて、空気（AIR）のごとく当たり前の知識・技術として身に付け、技術的なイノベーションを起こして社会を変革できる次世代技術者となることを皆さんには期待しています。皆さんの先輩には、社会で大活躍する起業家がたくさんおり、中には在学中に起業したケースもあります。先輩の背中を追いながら、夢を持って勉学に励んでください。

学校で身に付けるもう一つの能力

校長補佐（研究推進担当） 荒木 信夫



みなさんは長岡高専で技術者に必要な基礎的な知識を学び、それを活用する技術（テクノロジー）を習得します。現代のテクノロジーは、5年や10年というスパンで、どんどん進化しています。現に10年前には存在すらなかったスマホの普及率は、すでに全世界で72%です。テクノロジーの進化のスピードは、この先も衰えることはないでしょう。今後10年で人工知能、ロボット、自動運転が社会をさらに大きく変化させます。

高専で学ぶ基礎的な内容は技術者には極めて重要です。しかし、もう一つ身に付けなければならない能力があります。それは「分からないことがあったら自ら学習する能力」です。これは授業では身に付きません。技術者として社会で活躍するためには新しいテクノロジーについて常に自ら学習し、吸収することを継続しなければならないからです。

レジリエンス能力

校長補佐（高専国際化担当） 市村 勝己



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんにレジリエンスという言葉を紹介します。レジリエンス（Resilience）とは、「逆境から素早く立ち直り、成長する能力」であり、換言すると、打たれ強い心ともいえるでしょう。レジリエンス能力の高い人は、より幸福で、健康状態もよく、仕事で大きな成功を収めるといった研究データもあるそうです。この能力を構成する要素は、自己認識（Self-Awareness）、自制心（Self-Regulation）、精神的敏捷性（Mental Agility）、楽観性（Optimism）、自己効力感（Self-Efficacy）、つながり（Connection）の6つです。この能力は生得的な能力ではなく、自分に与えられた機会や、周囲の人達との人間関係を通じて構築されます。レジリエンス能力を高専生活で身につけて、困難を克服し、健康で、そして幸せな人生を送ってもらいたいと願っています。

新入生学級担任からのメッセージ



長岡高専へようこそ！ —大人へのラスト・ステップ—

1年1組担任 占部 昌蔵

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

今、皆さんはこれから始まる長岡高専での生活に希望を抱いていることでしょう。その希望を忘れずにいましょう。同時に、新しい環境なので、ここでの生活に不安を抱いている人も多いと思います。ただ、このような心情は上級生もほぼ同じでした。一日も早く、この学校に慣れるようにしましょう。

学校生活がスムーズにスタートできるよう、私の考える長岡高専の特徴とアドバイスをあげてみます。まず、長岡高専は一般的に普通科の高校と比べると、自由度の大きい学校です。この自由度は大学に近いものです。ただ、その自由と一緒に付いてくるのが責任です。例えば、学業のことというと、学業における責任は学生自身にあるということです。仮にあなたが思うような良い成績が取れないとしても、それは誰か他人のせいではなく、あなた自身の責任だということです。もう一点のアドバイスとして、日々の生活の中で「ブレない心、柔軟な対応」を心がけてみてください。この紙面では、詳しくは説明しません。入学後、機会をみてお話ししようと思っています。是非、自分自身でもよく考えてみてください。そして、高専での生活で実践して欲しいものです。

最後に、5年後皆さんがここ長岡高専を卒業していく時に、「ここにきて良かった」と思えるよう充実した学校生活を送れるよう心がけてください。期待しています。



第二の誕生

1年2組担任 鈴木 覚

ご入学おめでとうございます。みなさんが新生活を開始するこの年は、新しい年号とともに始まる新しい時代の幕開けとも重なります。これからの時代を背負って立つみなさんの毎日に担任というかたちで関わられることを喜ばしく思っています。

さて、思春期を「第二の誕生」のときと呼ぶことがあります。この世界に生み落とされ、存在し始めるのが第一の誕生です。生まれるとき、生まれ出ることを自分で望み、自分の意志で生まれてきたという人は一人もいません。気づいたら存在してしまっていた。それが実情ではないでしょうか。そこには、どうしようもない受動性があります。この受動性は、その後の成長過程でも、つきまといてきます。しかしそれが占める割合は、次第に小さくなっていき、反対に能動性・主体性が占める割合が大きくなっていきます。そして思春期にいたって、自分の人生を積極的に引き受け、能動的・主体的に生きていこうと決意するときがやってきます。その決意こそが第二の誕生です。一度目は存在するために生まれ、二

度目は生きるために生まれるのです。わたしは、義務教育を終え、上位の学校に進学すること、この第二の誕生を重ね合わせて考えています。ご存知の通り、義務教育の義務は、保護者が子どもに教育を受けさせる義務です。そのため義務教育は、どうしても受ける本人にとって、受けさせられるという受け身の性格が強いものとなってしまいます。しかしこれからは違います。みなさんは、自分で考え、自分で選んで、高専に入学してきました。これからの勉強、そしてこれからの人生で起こることは、自分が選択したこと、自分の選択の結果です。この入学を第二の誕生という気持ちで受け止め、これからの毎日を能動的・主体的に生きていってほしいと思います。



入学おめでとう

1年3組担任 桐生 拓

新入生のみなさん、ようこそ長岡高専へ。また、保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。

さて、これから皆さんは国内外様々な場所から集った友人・より深い内容の授業・部活やブレラボといった活動・自由な校風の中でこれから生活が始まります。今はその生活に不安を感じているかもしれません。実は、その不安はまわりの仲間みんなが思っているのです。

一歩一歩の歩みを止めずに、色々な経験をする中で新しい自分に出会えます。気がついた時には不安が自信に変わります。自分自身・友情や将来の目標、皆さんの経験はこれらをより大きくしていきます。

そのためにはこれからの5年間、色々なことに挑戦してください。その挑戦で、多くの事を観て・聴いて・感じてください。

「失敗は積極的にしていきたい。なぜなら、それは成功と同じくらい貴重だからだ。失敗がなければ、何が最適なのかわからないだろう」と話した偉人もいます。

失敗しても次に生かされた時それは成功に変わります。多少の失敗を恐れず、多くの経験をしてください。

皆さんが5年後にどんな大人になるかは今日からの過ごし方にかかっています。初心を忘れず有意義な5年間になるよう一緒に高専生活を楽しみましょう。



入学によせて

1年4組担任 福田 昇

ご入学おめでとうございます。今日からみなさんと長岡高専での学習や生活と一緒に過ごしていくことになります。君たちが日常の多くを費やしてきた小学校の6年間、そして中学校

の3年間は義務教育であり、自分たちが選択してきた進路ではありませんでした。しかし、長岡高専は入学するまでに幾つかの学校選択があり、最終的に自分が選んだ進路です。この進路の選択は、今後君たちが生きていく上で幾度となくするもので、今回が最初の大きな進路選択になるわけです。

人の一生を四季にたとえて表現する場合があります。青春、朱夏、白秋、そして玄冬です。君たちがよく知っている言葉は青春だと思います。木々の若々しいイメージの青い人生、「学を志す」時期、学業を積みながら何をしたいのかを模索する時期です。その次にやってくるのが朱夏、朱とは赤のことです。燃えるような人生、つまり、「天命を知る」時期で、自分が何をやりたいことが分かる時期です。朱夏で人生が決まるといわれます。赤い夏が終わり、やがて白秋がやってきます。白とは自分に色がないことで、「耳に従う」時期であるといえます。耳に従うとは人の言葉を素直に聞くということです。そして、最後にやってくるのが玄冬、玄とは黒のことです。物事の根源の道も意味します。玄人という言葉で表されるように人生を全て知りえた最後を意味します。

この4つの言葉は人が人生を振り返ったときの節目を意味しています。みなさんがこの長岡高専で青春を過ごし、燃えるような朱夏が迎えられるように5年間を過ごしていけるように生きてほしいと思います。



夢に向かう5年間に

1年5組担任 田原 喜宏

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。早速ですが、皆さんには「夢」（あるいは「目標」と言い換えても良いでしょう）はありますか。「こんな仕事につきたい」、「学校に在る間にこんなことをやってみたい」そして「こんな自分になりたい」。夢や目標は人それぞれ違いますし、もちろんまだ自分のやりたいことが決まっていないという人もいます。皆さんはこの長岡高専で5年間、専攻科に進めば7年間という長い時間を過ごすことになります。せつかくの5年間、ぜひ自分の夢を実現するために精一杯の努力をして下さい。まだ目標のない人は、色々なことに挑戦してやりたいことを見つけて下さい。本校の卒業生には在学中の夢を卒業後、あるいは在学中に叶えた方もいます。もちろん、夢を叶えるには大変な努力が必要です。そして努力しても叶わないこともあるでしょう。それでも叶えるための努力は無駄にはならず、皆さんの成長には欠かせない要素として身に付けていくものです。長岡高専には皆さんの夢を叶える手助けをするための活動や教育プログラムがあります。夢に向かう努力によって皆さんは刺激を受け、成長することになり、そして充実した高専生活を送ることができるようになります。また、夢を語り合え、切磋琢磨できる友達を作って下さい。勉強や色々な活動の中で努力し、充実しているときこそ解らないこと、辛いことが出てきます。そんなとき頼りになるのは先生、先輩、そして友人です。夢に向かって努力し、一生涯の友人を作ることができる、そんな時間を過ごし「高専に入って本当に良かった」と5年後に言える自分になってくれることを願います。

第1学年学科クラス担任

本校では平成25年度まで入学学科ごとにクラス編成をしていましたが、平成26年度入学生から、第1学年に限って、全学科の学生の混合クラス編成を行っています。全学科共通科目の授業は混合学級のクラスで、専門科目の授業は各学科に分かれて行っています。第2学年からは所属学科によるクラス編成になりますが、最初の年に自分の所属学科にこだわらずに築いた交友関係は、あらゆる面で役に立つことが期待されます。

第1学年における混合学級の導入に伴い、1組から5組の学級担任（一般教育科教員）のほかに、学科クラス担任を設けています。学科クラス担任とは、1年生が学科別の編成になって専門科目の学習をする際に、その支援窓口となる教員で、各専門学科の教員が担当します。

平成31年度第1学年の学科クラス担任は次のとおりです。



機械工学科
井山 徹郎



電気電子システム工学科
樺澤 辰也



電子制御工学科
梅田 幹雄



物質工学科
村上 能規



環境都市工学科
田中 一浩



新入生のための施設紹介

「学生相談室」をご利用ください

学生相談室長 鈴木 寛

長岡高専「学生相談室」は、組織の名前でもあり、場所の名前でもあります。組織としての「学生相談室」は、室長1名と、一般教育科・専門学科から6名の教員相談員（内1名は副室長を兼ねる）、看護師1名、カウンセラー2名の計10名で構成され、この10人全員が学生相談員として、学生の相談を受け付けています。場所としての「学生相談室」（上写真）は、2号館1階保健室の隣にあります。授業実施期間中はあらかじめ保健室で予約した上でカウンセラーとの面談（週2日、一人1回1時間）を受けることができます（保護者も利用可）。また、その他の相談員に直接相談することや、電話やメールで相談することも可能です。詳しい相談方法は、別紙「学生相談室だより」と、本校HPにも掲載されています。勉強、人間関係、心身の不調など、学校や学生の生活に関わることなら、どんなことでもご相談ください。相談の秘密は厳守され、本人等の了解を得た上で問題解決のお手伝いをいたします。

「誰かに相談したい」、「ちょっと話を聞いてほしい」と思ったら、学生相談室へ。

総合情報処理センターでできること

総合情報処理センター長 竹部 啓輔

総合情報処理センターでは、長岡高専のネットワーク全体を管理しています。これによって、皆さんは校内や寮などから様々なネットワークサービスを受けることができます¹⁾。学生全員にメールアドレスが配布され、そのメールの送受信を、インターネットを利用して遠隔地から行ったり、携帯電話に転送するよう設定したりすることができます²⁾。センター内には大型プリンターがあり、学会発表のポスター印刷などに使われています。マイクロソフトのOffice365（WordやExcelなど）やVisual Studioのような開発環境を個人のパソコンで利用することもできます。センター端末室は、授業の無い空き時間や昼休み、放課後に一部開放していますので、ご利用ください。どうぞ、当センターを活用し、有意義な高専生活を送ってください。

1) <https://www2.st.nagaoka-ct.ac.jp/>

2) <https://webmail.nagaoka-ct.ac.jp/>

図書館を活用しましょう

図書館長 永井 睦

2階の閲覧室には、様々な分野の本が揃えられています。歴史、文学、ライトノベル、数学、物理、化学、工学専門書や学習参考書など10万冊以上の蔵書が皆さんを待っています。図書館のカウンターで尋ねてみてください。以前から探していた本が、案外簡単に見つかったりします。また、英語多読コーナーには、易しい絵本から始めて、読みやすさで区分された7000冊を超える図書があります。ここでは読書や勉強に没頭できる静かな環境を提供しています。

1階には、自由に使える様々なスペースが用意されています。空調が良く効き、学校で最も快適に過ごせる場所の一つです。友達同士で集まって話し合いやグループ学習に使用できるスペース、ネットで情報検索できるコーナー、空き時間に軽食を取りながらゆっくり過ごせるスペースもあります。1階の学習室では、各学科出身の専攻科生の先輩から個別指導が受けられる、学習支援サービスが誰でも利用できます。

また、図書館では、随時図書の購入希望を受け付けていますが、他にも、学生会と共同で新潟市などの大型書店に本を買い付けに行く「ブックハンティング」で、図書館の図書購入に参加する行事も企画しています。

図書館では、1年を通して色々な楽しみ方ができます。ぜひ積極的に使ってください。

「地球ラボ」ってなあに？

地球ラボ室長 井山 徹郎

地球ラボは誰でも気軽に訪れることができ、留学生と日本人学生が学科や学年を超えて交流することができる異文化交流の場です。地球ラボでは1年を通じて、留学生と日本人学生と一緒にいくつかのイベントに参加しています。その中の一つに全学科、全学年の学生が参加できる「国際関係学演習」という授業形式の活動があります。クイズやゲーム、話し合いなどを通じて、留学生と日本人学生がお互いの立場やそれぞれの違いを認め合い、交友関係を深めていくことを目的としていて、例えば好きな人に告白するときの国ごとの違いなどを和気あいあいと話あったりします。異文化交流というと、英語ができないと不安に思うかもしれませんが、決して心配しないでください。英語が苦手な日本人学生、日本語が堪能な留学生もたくさんいて、気軽に異文化交流ができる絶好の場となっています。興味のある人は、ぜひ図書館1階の地球ラボに顔を出してみてください！他にも語学学習の支援や異文化体験のイベントの発信なども行っています。ぜひ、長岡から世界に羽ばたくグローバルエンジニアへの第一歩を地球ラボから踏み出してみませんか？



4月

- 1日(月)～2日(火) ……春季休業
- 2日(火)～3日(水) ……健康診断
- 3日(水) ……入学式
- 4日(木) ……始業式 専攻科履修ガイダンス
課外活動報告会
午後：学生会行事 専攻科授業開始
- 5日(金) ……本科前期授業開始
- 9日(火)～10日(水) ……学科第1学年合宿研修
中旬 ……クリーン作戦



入学式

5月

- 7日(火) ……学科第2学年合同保護者会
- 8日(水) ……学科第3学年合同保護者会
- 11日(土) ……専攻科推薦選抜
- 17日(金) ……専攻科推薦選抜 合格発表
- 17日(金) ……学生会行事
- 20日(月) ……インターンシップガイダンス①



防災訓練

6月

- 1日(土) ……開校記念日
- 3日(月)～7日(金) ……学科第1～3学年 前期中間試験
- 8日(土) ……専攻科学力選抜
- 14日(金) ……専攻科学力選抜 合格発表
- 20日(木) ……歯科検診日
- 29日(土) ……学科第1学年合同保護者会
- 29日(土)～7月21日(日) ……関東信越地区高専体育大会
本校開催種目：7月7日(日) ハンドボール
7月20日(土)、21日(日) バドミントン



遠足

7月

- 4日(木) ……防災訓練
- 31日(水)～8月6日(火) ……前期末試験



8月

- 上旬 ……校内大清掃
- 6日(火) ……インターンシップガイダンス②
- 10日(土)～11日(日) ……オープンキャンパス
- 10日(土)～9月26日(木) ……夏季休業
- 17日(土)～9月1日(日) ……全国高専体育大会



高専体育大会

9月

- 12日(木)～26日(木) ……学科第1～4学年保護者会
- 25日(水)～28日(土) ……学科第4学年見学旅行
- 26日(木) ……学科第3学年工場見学
- 27日(金)～30日(月) ……特別授業日



10月

- 1日(火) ……後期始業式 課外活動報告会
専攻科フォーラム
- 2日(水) ……後期授業開始
- 9日(水) ……学生会行事 (予備日：10月16日(水))
- 下旬 ……クリーン作戦

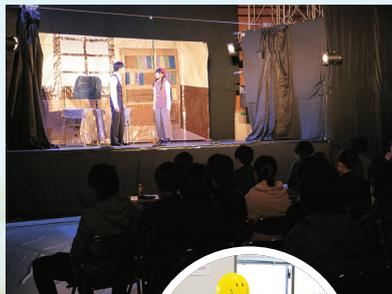


体育祭

1年度

19

予定



学園祭



クラスマッチ



卒業研究発表



卒業式

11月

- 1日(金).....午前補講 午後末工祭準備
- 2日(土)～3日(日).....末工祭
- 4日(月).....末工祭後片付け
- 26日(火).....学科第4学年編入学選抜
(臨時休業日)
- 27日(水)～12月3日(火).....学科第1～3学年 後期中間試験

12月

- 2日(月).....学科第4学年編入学選抜 合格発表
- 中旬.....学生総会
- 17日(火).....学生会行事
- 中旬.....校内大清掃
- 26日(水)～1月5日(日).....冬季休業

1月

- 6日(月).....授業再開
- 15日(水)～17日(金).....学科第2学年スキー合宿研修
- 16日(木).....専攻科特別研究発表会
- 17日(金).....校内一斉試験の日
(CBT、TOEIC等)
- 23日(木).....学科第1学年推薦選抜・
専攻科社会人特別選抜 (臨時休業日)
- 30日(木).....学科第1学年推薦選抜・
専攻科社会人特別選抜 合格発表
- 30日(木)～31日(金).....卒業研究発表会

2月

- 16日(日).....学科第1学年一般選抜
- 18日(火)～25日(火).....学年末試験
- 中旬.....校内大清掃
- 21日(金).....学科第1学年一般選抜等 合格発表

3月

- 6日(金)～19日(水).....臨時休業日
- 16日(月)～18日(水).....学科第4学年保護者会
- 19日(木).....第54回学科卒業式
第19回専攻科修了式
- 20日(金)～31日(火).....学年末休業

寮行事

- 3月31日(日)～4月2日(火).....指導寮生・寮友会合宿研修
- 2日(火).....開寮
- 3日(水).....入寮式、新入寮生懇談会、
歓迎夕食会
- 5月16日(木).....寮防災避難訓練
- 6月14日(金)～16日(日).....寮祭
- 8月12日(月).....閉寮
- 9月17日(火)、18日(水).....寮生保護者会
- 23日(月).....開寮
- 12月26日(木).....閉寮
- 1月5日(日).....開寮
- 11日(土)～12日(日).....冬寮祭
- 3月6日(金).....閉寮

学生会長・寮長から新入生へのメッセージ



新しい一歩

学生会長 大井 壱晟

1年生の皆さん入学おめでとうございます。長岡高専に入ってまだ不安な部分もあると思います。そこで私が皆さんに高専でやってほしいことを3つ紹介します。

1つ目は自分の考えを相手に伝えること。高専では実験やグループワークなどがあり、話し合いがよくあります。どんどん周りの人と関わりメンタル面を強くしましょう。必ずこの先あなたのためになるでしょう。

2つ目はいろいろなことに挑戦しよう。何かに挑戦できるのは今のうちです。社会に出るとできなくなることが多くあります。高専には休みが多くあります。やりたいことや興味があることがあるならチャレンジ精神をもってどんどん挑戦していきましょう。

3つ目は高専ライフを全力で楽しもう。人生は1度きりです。後悔が残らないように高専生活を過ごしてください。

最後に、長岡高専は自由な学校ですが高専生という自覚をもって楽しく過ごしていきましょう。



入寮生に向けて

高志寮寮長 大月 一摩

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。ここで僕から入寮生に向けてメッセージを送らせていただきます。

新しい生活が始まり、特に寮生活をする人は周りに知り合いがほとんどいなく、期待と同時に不安もたくさんあるかと思います。僕自身、知り合いが1人もいない状態でのスタートでした。しかし、心配はいりません。集団生活とは凄いもので、寮生はすぐ友達ができてしまいます。その辺は安心してください。

高専は学生が主体となって活動をする、ほかの高校と比べて自由なことが多い場所です。つまり、自分で考え行動し、その行動には責任を持たなければいけません。親元を離れる皆さんならなおさらのことです。高専生活、寮生活

を有意義なものにするために、どんな自分になりたいのか、これからのことをよく考えましょう。なにか一つ目標があるだけで大きく違うと思います。

また最近では、学校全体で国際化が進んでいます。留学生との交流のため、寮では棟の改装まで昨年度行われました。寮は留学生と身近で交流できる貴重な場です。

その他にも部活動、海外研修、プレラボなど、ここには勉強以外にも良い環境が整っています。

いろいろなことに恐れず挑戦し、自分の可能性を広げていってください。



新入生の皆さんへ

女子寮長 恩田 詩緒梨

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

中学校までとは違う、新しい環境での生活に期待と不安を抱えていると思います。私も1年生の頃は、自分の志望校に入学できて嬉しい反面、授業についていけるのか、新しい友達ができるのか、寮生活に馴染めるのかとたくさんの不安がありました。しかし、そんなときは周りを頼ってみました。同じクラスや学科の友達、部活や寮の先輩方、多くの先生方、たくさんの人が支えとなってくれると思います。ぜひ、色々な事に積極的に取り組み、人との出会い、つながりを大切にしてください。

さて、話は変わりますが、皆さんはこの学園だよりを読みましたか？ 前のページには今年度の行事予定、この後のページには各クラブからのメッセージがあります。これからの学校生活で大変な事もあると思いますが、それ以上に楽しい事もたくさんあります。それらのことを通して、自分がやりたいこと、全力で取り組めるものを見つけて下さい。そこから多くのことを学べるとと思います。

これからの5年間は自分の行動次第で、より良いものにできると思います。長岡高専生としての自覚を持ち、目標を持ち、充実した学校生活を送って下さい。皆さんの学校生活が楽しく、素晴らしいものになるよう応援しています。

学生会役員紹介

学生会長 電気電子システム工学科4年 大井 杏晟
 学生会副会長 電気電子システム工学科4年 小黒 柗真
 学生会副会長 電子制御工学科3年 藤田 悠生

総務部	部長	機械3年	山崎 修平
	副部長	環境3年	藤田 祐樹
会計部	部長	物質3年	東 はるか
	副部長	機械3年	徳江 巨樹
外交部	部長	電電3年	森山 駿介
	副部長	電電3年	池上 隆生
部活動推進支援部	部長	電電3年	五十嵐伊織
	副部長	電電4年	吉元 翔太

広報部	部長	電電3年	丸田 実咲
	副部長	電電4年	川上 恭平
体育委員会	委員長	制御3年	藤田 悠生
	副委員長	制御2年	矢野 敦大
文化委員会	委員長	制御3年	高橋祐己哉
	副委員長	電電3年	林 倫瑠
整備厚生委員会	委員長	電電4年	小黒 柗真
	副委員長	電電3年	澁谷 雄大
図書委員会	委員長	電電3年	岩島 琉偉
	副委員長	制御3年	中川 太一
学園祭実行委員会	委員長	物質4年	山田 明佳
	副委員長	物質4年	恩田詩緒梨
文化発表会実行委員会	委員長	制御3年	高橋祐己哉
	副委員長	電電3年	平田 蓮
			南雲 伶椰

学生会役員からのメッセージ

副会長兼整備厚生委員長 電気電子システム工学科4年 小黒 柗真
 新入生の皆さん入学おめでとうございます。
 学生会は様々な行事の管理運営を行っています。5年間の学生生活をより楽しく過ごしたい方は是非、学生会室を尋ねてみてください。
 学生会役員一同、お待ちしております。

副会長兼体育委員長 電子制御工学科3年 藤田 悠生
 新入生の皆さん入学おめでとうございます。
 体育委員は主に、10月の体育祭、12月のクラスマッチ(球技大会)の準備、運営を行います。やりがいもあり、とても楽しいので興味がある人は、ぜひ学生会に入ってください。
 頑張っていきましょう。

会計部長 物質工学科3年 東 はるか
 新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。会計部では、部活や委員会からの支出依頼書の受けとり、年度予算案の作成を行っています。目立つような仕事ではないですが、とても良い経験になると思います。皆さんの参加お待ちしております！

部活動推進支援部長 電気電子システム工学科3年 五十嵐 伊織
 新入生の皆さん入学おめでとうございます。
 部活動推進支援部では、新入生の部活動見学を企画や、一年を通して体育館の使用振り分けなどを行っています。
 まずは一年頑張りましょう！

総務部長 機械工学科3年 山崎 修平
 新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
 私が所属している総務部は、主に役員会の書記や、学生改質の備品補充など、雑用係のような活動していますが、誰もしないと、仕事が止まってしまうため、責任感を持って仕事をしています。
 みなさんも、自分のすることに責任を持って、楽しく学校生活を過ごしてください。

外交部長 電気電子システム工学科3年 森山 駿介
 新入生の皆さん入学おめでとうございます。外交部は、長岡高専の窓口として他の高専と交流会などを行って交流を深めたりしております。勉強や部活など日々の高専生活を楽しんでください！

文化発表会実行委員長 電子制御工学科3年 平田 蓮
 新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
 これからこの長岡高専で一緒に良い学校生活を過ごしましょう！
 さて、私が所属する文化発表会実行委員会ですが、毎年夏に関東信越地区の高専生が集まって日々の活動を紹介し合うという行事を行います。他の高専生との繋がりを作れたり、自分の技術力を磨いたりできるので、ぜひ興味を持っていただければと思います。
 これからよろしくお祈いします！

文化委員長 電子制御工学科3年 高橋 祐己哉
 新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
 文化委員は季節ごとの様々な行事を計画する委員会です。早速5月には全校遠足があります！
 只今全力で準備を進めているので、楽しみにしてください。

広報部長 電気電子システム工学科3年 丸田 実咲
 新入生の皆さんご入学おめでとうございます。
 広報部では、学生会新聞の作成、学生会ホームページの更新などの活動をしています。
 活動に興味がある人は広報部に入ってほしいです。また、学生会行事のことなど役立つ情報を掲載しているので是非、利用してください！

図書委員長 電気電子システム工学科3年 岩島 琉偉
 新入生のみなさん、入学おめでとうございます。
 図書委員会では、文化祭での古本市の運営や、年2回ブックハンティングという、学生が図書館に置きたい本を書店へ買いに行くイベントの企画などを行っています。是非参加してみてください。

学園祭実行委員長 物質工学科4年 山田 明佳
 新入生の皆さんご入学おめでとうございます。
 学園祭実行委員会は、長岡高専の学園祭『木工祭』『高志祭』の運営を担当する委員会です。学園祭を開催するためには役員の力が不可欠です！
 皆さんも役員になって一緒に学園祭を盛り上げてみませんか？

体育クラブ

野球部

野球部は県大会ベスト16を目標に日々練習に取り組んでいます。学年の縦の仲がとてもいいチームで、メリハリのある練習を心がけています。野球に興味のある人はぜひ見学に来てみてください。

剣道部

月、水、木曜日にトレーニングセンターで活動しています。部室は柔道場奥の部室棟2階にあります。道具の貸し出しも行っているため、初心者・経験者問わず大歓迎です。ぜひ一度見に来てください。

サッカー部

サッカー部では選手権などの高校生大会や4、5年生も参加する高専大会にも出ています。また、全国高専大会にも進んだことがあります。サッカー部に入って高専生活をより楽しくしませんか？ サッカー好きな人、やる気のある人大募集です！

ゴルフ部①

ゴルフ部では、週1回のペースで、学校外の練習場をお借りして活動しています。

ゴルフは、なんとなく高いイメージがあるかと思いますが、ゴルフ部には、練習道具が一式揃っているため、自分で道具を準備しなくても、入部してすぐに練習に参加できます。また、そこまでハードな練習はないですし、自分のペースで練習ができます。紳士的なスポーツに興味があるという方は、ぜひご検討ください！

水泳部②

水泳部は夏の北信越大会や全国高専大会出場に向けて日々練習に取り組んでいます！

月1のペースで大会があるので何度も自分の実力を試せます。経験者はもちろん有意義な高専LIFEを送りたい人にもおすすめです。また、マネージャーも大歓迎です!!(^ω^)

バスケット部

バスケット部は、全国高専大会で優勝することを目標に活動しています。全国高専大会に進んだことは何度かあります。女子も活動しているので男女問わず興味がある人は一度見に来てください。

ソフトテニス部

ソフトテニス部です。活動は平日の週5日間、第二体育館脇のテニスコートで活動しています。経験者はもちろん初心者でも大歓迎です。男女の合同練習をしているのでなたでも来てください！ぜひ一緒に体験しましょう！

山岳部

山岳部は年に数回登山します。主に県内各地の山、夏には県内外の百名山などへ登山を計画します。昨年度は富山県の立山に登りました。登山に興味がある人、先輩と交流したい人はぜひ来てください。

スキー部

夏は悠久山公園でランニング、野球、サッカーなどをして体力づくりをします。冬は部会で話し合い、スキー場等を決め、年2回程度合宿を行います。OBのコーチに本格的な指導をしてもらい、スキー技術の向上とスキー検定の合格を目指します。

硬式テニス部

硬式テニス部では昨年から練習内容などを変えて、大会で結果を残せるように頑張っています。部員のほとんどは初心者です。聞きたいこと等あれば気軽にテニスコートに来てください。経験者、初心者、女子部員大歓迎です!!

卓球部

卓球部は男女13人で部活を行っています。近年の大会ではH30年秋地区大会で団体2位、個人では3人が県大会に出場しました。ぜひ1年生の皆さんの入部を心からお待ちしています！

ハンドボール部

ハンドボール部は専門の顧問がいなかったため学生が主体となって練習しています。ハンドボールを知らない人でも部員は未経験の状態から始めているので興味がある人は体験お待ちしております。

バドミントン部③

バドミントン部は、近年の高専大会で男女共にダブルスで全国大会へ出場し、男子は3位と好成績を残しました。普段の部活では、男女混合で仲良くやっています。経験者も初心者も大歓迎です。

柔道部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。柔道部は現在10人で活動しています。人数は少ないですが部員全員で全国大会優勝という目標に向かって練習しています。試合で勝つ喜び、仲間と練習をする楽しさ、楽しいイベントや先輩との交流など自分にプラスになることがたくさんある部活です。ぜひ見学、体験に来てみてください。

バレー部

バレー部では主に上級生が指導し、仲間でアドバイスしあいながら練習しています。みんな仲が良く練習中も笑いが絶えない部活です。経験者も未経験者も可愛いマネージャーも大歓迎です。

陸上部

足が速くなりたい、健康的な生活を送りたい、友達をたくさん作りたい、高専生活を充実させたい、頑張る楽しさを感じたい、…そんなあなた、陸上やりましょう。

文化クラブ

英語部

英語部では、外国のボードゲームで遊んだり学園祭などで展示するパネルを作成したりしています。楽しみながら活動できるので、英語が好きな人もそうでない人もぜひ見学に来てください。

一言メッセージ

化学部

化学部は主に面白そうな化学実験を自分たちで計画し実際に実験してみようという部活です。また毎年開かれる学園祭や郊外で行われているイベントにおいて幅広い方々に体験を通して化学の面白さを知ってもらったり、化学のインターハイ等の化学知識を伸ばすためのイベントにも参加しています。

ロボティクス部

私たちはNHK高専ロボコンを筆頭に数多くのロボットに関する大会に出場し、数々の記録を残してきました。その活動の中で仲間たちとの協力を通じて、よりものづくりを楽しむことができます。私たちと一緒に自分のロボットを作ってみませんか？

写真部

写真部です。基本的には各自で撮影しています。学園祭や体育祭での撮影も行っておりコンテスト等にも参加しています。カメラ等に興味のある方、誰でも大歓迎です！

文芸部

はじめまして、文芸部です。私たちの部活では演劇と小説の執筆、部誌の刊行をしています。演劇に興味がある、自分で小説を書いてみたいという方は、初心者、経験者など気にせず、一度文芸部に足を運んでみてください。

インターアクト部

インターアクト部では、ボランティア活動や国際交流を行っています。内容は児童養護施設への訪問、高専、他学校の留学生とのスキーやバドミントンなどです。少しでも気になった方はぜひ気軽に来てください！

吹奏楽部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。吹奏楽部では、校内演奏会や大学生の方々との演奏のために日々楽しく練習しています。楽器初心者の方も大歓迎です！ぜひ、プール脇の部室に来てください！

軽音部④

軽音部に入部すると機材の揃った部室で練習することができます。毎年新入生歓迎会、部活内、学園祭で部としてライブをします。先輩の中にはバンドを組んでライブハウスの企画に出演している方もいます。まずは入部して新歓ライブで先輩たちのかっこいい姿を見てみてください！

書道部⑤

書道部の活動は週に1回程度で、それぞれの展示会等に向けて自分の作品を作ります。大会は少ないですが、その分のびのびと作品を書くことができます。経験者の方、初心者の方も大歓迎です。お待ちしております！

電算機部

電算機部ではプログラミング言語の勉強やプログラミングコンテストへの出場、ゲームエンジン「Unity」を使ったゲーム制作を行っています。PCで何かを作りたい人はぜひ第二端末室へお越しください。

美術部

年2回程度の展示会に備えて、作品作りをしています。部室は落ち着いた雰囲気の静かな部屋で、作品を作るための様々な道具が揃っています。自分の力を伸ばしたいと想っている方は、是非入部お願いします。

デザイン部

デザイン部では、毎年11月頃開催される『デザコン』へ出品する作品を作成しています。手を動かしたり、何かを創り出したり、考えたりすることが好きな方はぜひ3号館4階構造実験室へ遊びに来てください！

ダンス部

こんにちは！長岡高専ダンス部『DancingZ』です。ダンス部は学園祭、文化発表会などで発表を行っています。HIPHOPからアニメーション、ボカロまで様々なジャンルで踊っています。少しでも興味のある人はぜひ部活を見に来てください！

模型同好会

模型同好会では主に、夏に行われる鉄道模型コンテストや学園祭の出展に向けて、作品を製作しています。ガンブラや鉄道模型などに興味のある方はもちろんのこと、模型製作が初めての方でも大歓迎です。

制御システム研究同好会⑥

制御システム研究同好会は、メカ・エレキ・プログラムに関連することについてテーマを見つけ、自由に目標・計画を立て、自由に活動するところです。あなたも手を動かしてオリジナルなモノづくりをしてみませんか？

アントレプレナークラブ

世界はFacebookのマーク・ザッカーバーグやAppleのスティーブ・ジョブズなどの起業家（アントレプレナー）が牽引する時代になりました。この部活は部活動という形で製品の開発から実装まで取り組みます。起業家やものづくりに興味のある人はぜひ来てみてください！

将棋サークル

当サークルは、将棋を通じ他学年・他学科の学生と交流するサークルです。主に対局と感想戦を行います。また、活動は月数回なので無理せず楽しく続けられます。初心者・上級者問わず新入部員を募集しています！

自転車サークル

自転車サークルは、ロード、クロス、MTBなど、自転車好きが集まってサイクリング、改造等を行っています。たまに大会にも出ています。一緒に楽しみましょう！

専攻科運動サークル

私たちのサークルは、体育の授業がない専攻科で集まって運動することを目的としています。専攻科生限定のサークルなので、興味のある1年生はぜひ専攻科に進学してください。

AIR Tech プログラムをはじめました!

AIR Tech ってなに?

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。えっ? それは聞き飽きたって。それでは問題です。タイトルにある「AIR」ってどういう意味でしょうか。そう「空気」です、簡単ですよ。ただここでの「AIR」には別の意味が隠されています。これからの社会で新たなイノベーション(技術革新)を起こすには、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)、RT(ロボットテクノロジー)の技術が、空気のごとく必須になります。そこで長岡高専では、AI、IoT、RTのそれぞれの頭文字をとって、その技術(Technology)を学ぶためのプログラムとして「AIR Tech」(図1)と名付けました。

なぜAIR Tech?

AIの技術革新で、「AIが将棋・囲碁のトッププロの実力を超えた」、「今後10~20年後に、日本の労働人口の約50%がAIやロボットに置き換えられる」などとメディアなどで大きな話題になりました。今まで人間がやっていた仕事を、機械やロボットが肩代わりする時代がやってくるというわけです。でもこれは、私たちが不安に感じたり、悲観したりすることではありません。これまで、例えば洗濯機が発明されたおかげで今まで何時間もかかっていた手洗いから開放されたり、飛行機のおかげで外国に簡単に行き来することができたり、私たちの暮らしがより便利に変化してきました。ただしこれからのAI時代では、その変化が社会のあらゆる分野・階層で例外なく起こりうるといことです。そこで長岡高専では、これからの変化に柔



図1 AIR Tech ロゴ

軟に対応するためのプログラムを用意しました。

どんなことをするの?

段階的に3つのステップに分けて次の活動を行います(図2)。

- Step 1: 低学年(1、2年)で、AIやIoTのリテラシー授業を全ての学科で実施する
- Step 2: 中学年(3、4年)を中心に、プレラボ制度^{注*)}を利用してセンサ、スマホアプリ、データ解析などを学ぶ
- Step 3: 5年・専攻科で、分野横断型チームによる社会実装プロジェクトを実施する

ここでは特に皆さんにとって真っ先に関わりのある、1年生向けのAI授業について紹介します。授業内容は、機械学習(ディープラーニング)の導入編として、「自分自身で撮影したカメラ画像を正しく分類できるか」という問題解決の流れを学びます。まず正解となる教師データを作成し、ディープラーニングでの学習を行い、精度の検証、さらに精度を上げるための改善までを行います(図3)。

^{注*)}プレラボ制度: 興味のある研究や勉強会、講演会などを教職員とともに立ち上げ、そのテーマに関して活動を行うもので、学年・学科を問わず自由に参加可能。



図2 AIR Tech プログラムの概要

最後に、日本のディープラーニング研究の第一人者、東京大学大学院特任准教授・松尾豊先生の言葉を紹介します。「高専出身者は、とにかく手が動く。普通に東大に入学した学生は、口はうまいがやらない。高専出身者はとにかくやってみて、結果を私のところに持ってくる。(中略)プロジェクトのリーダーとしても相応しい。高専生は日本の宝だ。」(日経産業新聞 2018年11月14日付)

目まぐるしく変化する激動の時代、皆さんは「AIに仕事を奪われる」と恐れるのではなく、新たな技術を使いこなし「価値を生み出す」人になるよう、共に学びましょう。(AIR Tech WG 池田 富士雄)



図3 授業風景

タイ王国チュラポーン王女サイエンスハイスクール校の留学生受け入れが始まります

長岡高専の海外留学生受け入れの歴史

長岡高専は全国にある国立高専51校のうち、第一期高専12校の1校として1962年に設立された学校です。1985年より全国の高専の中でも最も早くから海外留学生を受け入れ、国際交流に積極的に取り組んできました。これまで、マレーシア、モンゴル、ベトナム、インドネシア、バングラデシュなどの国々から長期留学生を3年生から受け入れてきた実績があります。

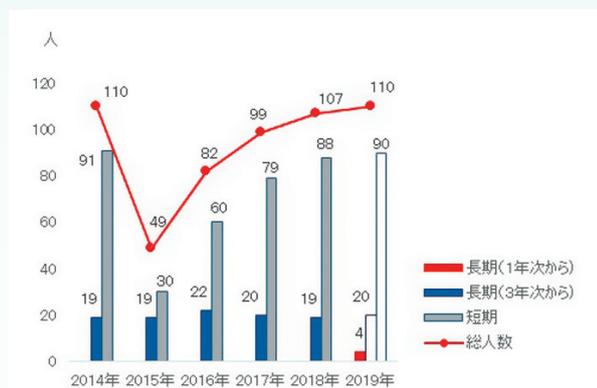


表1 長岡高専の海外留学生受け入れ数(2019年は予定)

本校では今回の提携にあたり2018年5月～6月にタイ王国の北部地域3校と中部地域の3校を訪問し、教職員や保護者との懇談会や授業の様子を参観してきました。また、6月のタイ日サイエンスフェアや8月と10月に行われた日本への留学生を対象とした日本語教育集中講座への参観や授業支援など、受け入れ体制に向けた準備を行ってきました。

チュラポーン校はタイ国内で学力上位0.3%に位置し、英語、数学、科学においてとても高い教育水準にあります。授業では化学や数学ではタイ語に併記する形で英語を取り入れており、PISA(2015)の調査結果からもチュラポーン12校の平均値は数学リテラシー551(日本531)、科学リテラシー562(日本538)、読解リテラシー533(日本516)であり、トップクラスに位置しています。

本事業は本校の国際化を飛躍させるチャレンジの絶好の機会と捉えています。このため、長岡高専は、彼らと共に学び合う中でグローバルな視点を持ち、世界に活躍する人材育成に向け、ソフト面での学生・教職員の意識改革と、ハード面での学習環境の整備を行い、学校全体の国際化への加速を図っています。

チュラポーン王女サイエンスハイスクール校

長岡高専では2019年度よりタイ王国内に12校あるチュラポーン王女サイエンスハイスクール校から中学校の教育科課程相当の卒業生を1年生から毎年2名ずつ受け入れることになりました。これにより、本校では日常的に留学生がいる環境が生まれることとなります。

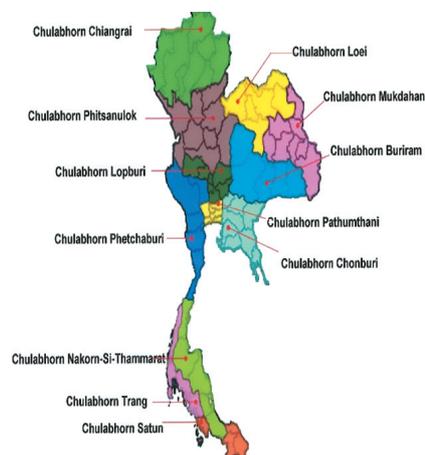


図1 タイ教育省作成資料より抜粋



図2 Chiangrai校 数学の授業



図3 Lopburi校 科学の授業

■独立行政法人国立高等専門学校機構学生表彰

(前年度の学年で表記)

理事長特別表彰 ロボティクス部 [Cat-Bot]
 電子制御工学科 4年 石橋 和貴
 電気電子システム工学科 4年 酒井 陽太
 機械工学科 4年 藤橋 息吹
 電子制御工学科 4年 酒井 龍一
 機械工学科 4年 竹内系太郎

■長岡高専の学則に定める賞

(前年度の学年で表記)

善行賞
 機械工学科 2年 馬場 拓海

■各種受賞者

(前年度の学年で表記)

○第24回宮二記念館全国短歌大会

ジュニア部門高校生の部
 ・選者賞 (大松達知選)
 電子制御工学科 3年 土田 晴登
 ・秀逸
 機械工学科 1年 高橋 昂暉
 電子制御工学科 1年 佐野 裕馬
 物質工学科 1年 山口 暁裕
 機械工学科 2年 志賀 美希
 機械工学科 2年 長谷川晴基
 環境都市工学科 2年 福島 泰斗
 物質工学科 3年 畑 昂樹

○みんなのラズパイコンテスト2018

・ラズベリーパイ財団賞
 電子制御工学科 3年 土田 和史
 電子制御工学科 3年 後藤 祐貴

○G空間EXPO2018測量コンテスト

・特別賞
 環境都市工学科 5年 吉岡 勇人
 環境都市工学科 5年 南 海渡
 環境都市工学科 4年 阿部 圭太

○第3回廃炉創造ロボコン

・文部科学大臣賞
 機械工学科 5年 小林 勇人
 機械工学科 5年 柳 翼
 電子制御工学科 5年 五十嵐 勇人
 電子制御工学科 5年 奈良 貴明
 電子制御工学科 4年 中田 亘

○ロボカップジュニア2019北信越ブロック大会

チーム名: Cat-bot
 ・優勝
 ・セカンダリ・プレゼンテーション最優秀賞
 チーム名: 4-Axis
 ・準優勝

(参加チームメンバー)

Cat-bot:
 電子制御工学科 4年 石橋 和貴
 電子制御工学科 4年 酒井 龍一
 電気電子システム工学科 4年 酒井 陽太
 機械工学科 4年 藤橋 息吹
 機械工学科 4年 竹内系太郎
 4-Axis:
 機械工学科 3年 須貝龍太郎
 機械工学科 3年 高橋 我公
 機械工学科 3年 田邊 直輝
 機械工学科 2年 長谷川晴基

○第8回新潟県化学インターハイ 最優秀高等学校 (日本化学会関東支部長賞) 長岡工業高等専門学校

チーム名: Tsumuzium
 ・最優秀チーム (新潟日報社賞)
 ・総合種目 (NST賞) 準優勝
 ・筆記試験種目 優勝
 ・上級実験種目 優勝

チーム名: Re:mol

・総合種目 (NST賞) 優勝
 ・実験総合種目 優勝
 ・筆記試験種目 準優勝
 ・上級実験種目 優勝
 ・基本実験種目 優勝

チーム名: TNKNT

・総合種目 (NST賞) 3位
 ・長岡徽章賞
 ・実験総合種目 3位
 ・上級実験種目 3位
 ・中級実験種目 優勝

チーム名: ウンウントリウム

・基本実験種目 準優勝

(参加チームメンバー)

Tsumuzium:
 物質工学科 3年 寺尾 紫都
 物質工学科 3年 五十嵐 梨紗
 物質工学科 3年 山田 明佳
 Re:mol:
 物質工学科 3年 松崎 りさ
 物質工学科 3年 坂井 もも
 物質工学科 2年 反町 瑠希

TNKNT:

物質工学科 3年 保坂 太一
 物質工学科 3年 府川 凱
 物質工学科 3年 柴野 祥明
 ウンウントリウム:
 電子制御工学科 3年 福島龍乃介
 物質工学科 2年 小野塚 青
 物質工学科 2年 細川 大成

○ビジネスモデル発見&発表会

・最優秀賞特別賞
 電気電子システム工学科 3年
 BAYARBAT NOMUNBAYASGALANT
 電子制御工学科 3年
 ODONCHIMED SODTAVILAN

○信州未来アプリコンテスト0

・信越総合通信局長賞
 電子制御工学科 3年
 ODONCHIMED SODTAVILAN

○仮面いデザインアイデアコンテスト

・入選
 環境都市工学科 2年 相塚 陸
 環境都市工学科 1年 佐藤 剛
 環境都市工学科 1年 樋口 裕武
 環境都市工学科 5年 根津 拓福

○「発酵を科学する」アイデア・コンテスト

・グランプリ
 環境都市工学科 5年 永井 孔明
 環境都市工学科 5年 中林 豊博

○東日本高専バスケットボール大会

・優勝
 環境都市工学科 4年 小海 元暉
 電気電子システム工学科 4年 石田 真大
 機械工学科 3年 五十嵐 昭社
 機械工学科 3年 高橋 航
 電子制御工学科 3年 藤井 海成
 電気電子システム工学科 2年 竹内 尚汰
 電子制御工学科 2年 田中 柁平
 電子制御工学科 2年 堀内 宏輔
 環境都市工学科 2年 須藤 将丸
 環境都市工学科 2年 高橋 涼介
 環境都市工学科 2年 樋口 響
 電子制御工学科 1年 小林 拓真
 物質工学科 1年 渡邊 大翔
 電気電子システム工学科 4年 瀧澤 舞
 環境都市工学科 1年 阿部 雪乃
 環境都市工学科 1年 高橋 彩夏

○いのちの大切さを学ぶ教室全国作文コンクール

・警察庁長官賞
 電子制御工学科 2年 細木 真歩

■高志台消息

平成31年3月31日付

現職名	氏名	異動内容
教育研究技術支援センター・技術専門職員	藤田 信行	退職
電子制御工学科・助教	杉原 幸信	任期満了
教育研究技術支援センター・技術職員	酒井 健志	//
教育研究技術支援センター・技術支援職員	伊佐 実	//
総務課人事係長	吉野 忠光	辞職(新潟大学 人事企画専門職員(給与企画担当)へ)
学生課教務入試係	阿尻 大	辞職(長岡技術科学大学学生支援課学生係へ)

平成31年4月1日付

現職名	氏名	異動内容
電気電子システム工学科・准教授	床井 良徳	配置換(小山工業高等専門学校へ)
機械工学科・准教授	山岸 真幸	出向(豊橋技術科学大学へ)

平成31年4月1日付

異動前職名等	異動内容	氏名	異動後職名
機械工学科・嘱託教授	再雇用	吉野 正信	(継続)
電気電子システム工学科・嘱託教授	再雇用	片桐 裕則	//
電子制御工学科・嘱託教授	再雇用	太刀川 信一	//
総務課・事務支援職員	再雇用	片桐 正幸	//
教育研究技術支援センター・技術職員	育休復帰	渡邊美奈子	//

■平成31年度第1学年入学者選抜実施報告

《全体》

学科名	入学定員	推薦		一般		合計		倍率
		志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	
機械工学科	40	47	16	58	26	74	42	1.9
電気電子システム工学科	40	26	16	39	29	55	45	1.4
電子制御工学科	40	56	16	75	29	91	45	2.3
物質工学科	40	41	16	58	29	74	45	1.9
環境都市工学科	40	26	16	47	30	63	46	1.6
合計	200	196	80	277	143	357	223	1.8
(参考)平成30年度	200	173	80	272	146	352	226	1.76

※一般の志願者数は推薦で合格とならなかった者の人数(106名)を含みます。
 ※志願者数は第一志望学科の人数です。
 ※一般の合格者数は最終的に合格した学科の人数です。(一般選抜について、本校は第3志望学科まで出願を認めています)
 ※環境都市工学科には1名、帰国子女特別選抜受検者を含みます。
 ※倍率は定員に対して算出しています。

平成31年度第1学年入学者選抜は、本校及び県内2か所(新潟市、上越市)に会場を設け、推薦選抜及び一般選抜を実施しました。また、今回は帰国子女特別選抜も本校会場で実施しました。今年度の志願者は合わせて357名で昨年度よりも若干増え、競争率は定員200名に対し、1.8倍となりました。優秀な学生の獲得に向けて、今年度もオープンキャンパス、入試説明会及び学校訪問等、県内の中学生に向けた本校の入試PRに一層力を入れて行きます。来年度入学者の選抜も受検者の便宜に最大限配慮し、県内複数会場における実施を継続して行きます。

平成31年度入学者選抜では、推薦選抜、一般選抜及び帰国子女特別選抜合わせて223名の合格者のうち、所定の入学手続きを行った207名に入学を許可しました。

《推薦選抜》

平成31年1月22日に推薦選抜を実施しました。80名を募集人員としているところに196名が志願しました。推薦書、調査書、面接による選抜を行った結果、80名を合格とし、1月29日に合格発表を行いました。

《一般選抜、帰国子女特別選抜》

平成31年2月17日に一般選抜(理科、英語、数学、社会の4教科の学力検査+作文)を実施しました。また、同日、帰国子女特別選抜(理科、英語、数学の3教科の学力検査+作文+面接)も実施しました。120名を募集人員としているところに合わせて277名が志願しました。選抜の結果、合計143名を合格とし、2月22日に合格発表を行いました。

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人が適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルフォントを採用しています。